

消 防 白 書

問 広域消防本部 ☎ 43—4151

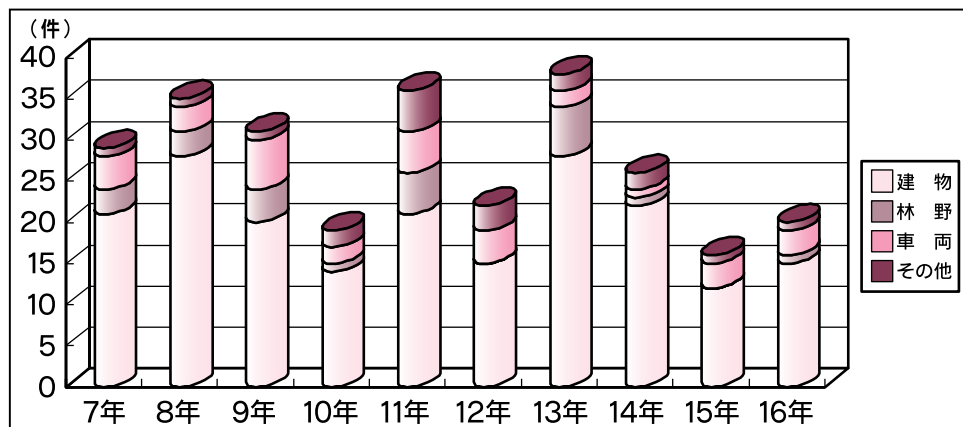
広域消防本部では、平成16年中の消防活動を「消防白書」としてまとめました。本市の火災や救急などの状況をお知らせします。

(表1)

火災種別出火数の推移

(件)

区 分	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
建 物	21	28	20	14	21	15	28	22	12	15
林 野	3	3	4	1	5	0	6	1	0	1
車 両	4	3	6	2	5	4	2	1	3	3
その他	1	1	1	2	5	3	2	2	1	1
合 計	29	35	31	19	36	22	38	26	16	20



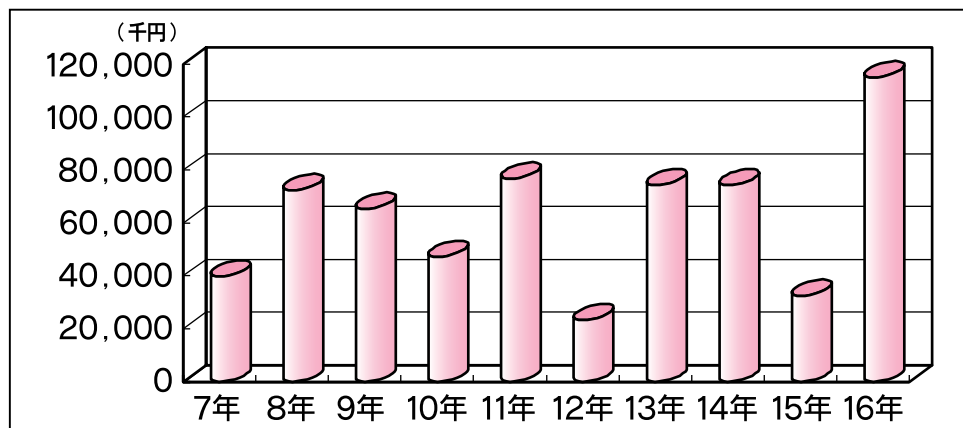
(表2)

損害額の推移

(単位：千円)

区 分	7年	8年	9年	10年	11年
損 害 額	39,778	72,355	65,330	47,158	76,685

区 分	12年	13年	14年	15年	16年
損 害 額	23,300	74,258	74,206	32,488	114,956



火災発生状況

平成16年中に、本市で発生した火災は20件(表1)。前年よりも4件増加しています。過去10年間の平均27・2件より7件少なくなっています。

火災種別では、建物火災が15件と75%を占め、次に車両火災3件、林野・その他の火災がそれぞれ1件発生しています。

火災による損害額は、過去10年間で最も大きく1億1,495万6千円で、前年を8,246万8千円上回っています(表2)。

また、残念ながら1年間で7人が死亡しています。特に、7月に発生した住宅火災では、1度に3人が焼死しています。1年間の焼死者7人及び1火災で3人が焼死したのは、広域消防が発足以来最多となっています。

安全で安心して暮らすために

住宅火災による死者数が増加傾向であり、高齢化が進むに連れ、さらに、高齢者の死者数が増加していく可能性があります。

このため、住宅用防災機器(火災報知器、消火器)などの設置を積極的に指導していくと共に、町